平成２９年度　第１回 射水市在宅医療・介護連携推進協議会議事録

日時　平成２９年５月３１日（水）午後１時半～２時半
会場　射水市役所 ２階 ２０１会議室

○議題

（１）平成２９年度実施計画及びワーキング部会の開催について　資料説明（事務局）
　　ワーキング部会について、部会員、部会長の承認

意見交換

・在宅医療・介護連携推進事業は平成３０年４月までに全市町村で実施することとしており、射水市においても平成２９年度に全事業の開始が整ったところ。今後アウトカム評価としてどのように事業評価を行うか。国より指標等も示されていくと思われるので射水市もそれに沿って検討していく。
・情報共有のＩＣＴ化は、ワーキング部会でセキュリティやコスト面、市の実情にあったもの、そして使い易いものを検討する。

（２）平成２９年度多職種連携に関する取組について　（各委員より）

意見交換

・射水市医師会では、多職種連携研修会を年３回行っている。昨年初めて実施した第２回のシンポジウム形式の研修は多職種に多数参加いただいた。
・射水市民病院では、地域への出前講座を実施。昨年度は市民公開講座と並行し、出前講座は年間２４回行った。今後も市民に啓蒙を図っていきたい。
・真生会富山病院では市内のケアマネジャー等に呼びかけ、地域連携交流会を毎年開催。今年度新しくケアカフェを計画しており内容検討中。介護に携わる職員等が気軽に参加し情報交換ができるものを計画していきたい。
・厚生センターでは、高岡市、氷見市、射水市の連携を図っている。難病や精神疾患を持つ方への支援として連絡会や研修会を行っており、射水支所では包括支援センター職員を対象に年２回事例検討会も行い、精神科医に参加していただいている。また、昨年度は新たに射水市内の看護管理者が集まり情報交換する連絡会を開催した。
・地域包括支援センターでは、支援の必要な方の関係者（ケアマネジャー、民生委員、自治会、警察等）が集まり、情報共有や支援方針の検討を行う個別ケア会議を開催している。また今年度新たに、包括会議での事例検討会に医師、歯科医師、薬剤師等に参加いただき、連携を図っていく予定。
・薬剤師会では新湊、小杉、大門といったような地域で情報交換ができるような会議または研修会を行い、多職種連携を図っていきたいと考えている。
・居宅介護支援事業者連絡協議会では医師会と共催の研修会や地区社協と共催の研修会などを昨年度同様に開催する予定。
・訪問看護では利用者の方への退院前カンファレンスに参加している。射水市は多職種の連携が良好であると感じる。顔の見える関係づくりを目指し、研修会にも参加したい。
・富山福祉短期大学では、市民向けに地域つくりかえ講座を開催し、在宅医療や認知症予防について講演している。学生には、多職種の連携の必要性を教育しており包括職員にも協力を得て学科横断型で模擬の事例検討会を行っている。
・県歯科医師会でも在宅医療に関心を持ち、月１回のペースで研修会や会議等を行っている。訪問歯科診療を実施している所は増えている。

平成２９年度　第１回射水市在宅医療・介護連携推進協議会　次第

日時　平成２９年５月３１日（水）午後１時３０分～
会場　射水市役所　２階　２０１会議室

１　開　　会

２　委員紹介　（資料1）

３　議　　題

（1）平成29年度実施計画及びワーキング部会の開催について

ア　平成29年度射水市在宅医療・介護連携推進事業実施計画　（資料2）

イ　在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置について　（資料3）

ウ　ワーキング部会の開催について　（資料4）

参考資料：ICT ツールを活用した情報共有について（報告）

（2）平成29年度多職種連携に関する取組について（各委員より）

４　閉　　会

資料　1

射水市在宅医療・介護連携推進協議会委員名簿

	団体名	役職	委員名
医師会代表	射水市医師会	副会長	北林　正宏
	射水市医師会	副会長	髙橋　徹
公的病院	射水市民病院	院長	島多　勝夫
歯科医師会代表	射水市歯科医師会	副会長	奥村　俊晴
薬剤師会代表	富山県薬剤師会	副会長	永野　康己
学識経験者	富山福祉短期大学	教授	炭谷　靖子
厚生センター	高岡厚生センター射水支所	支所長	竹内　智子
訪問看護ステーション代表	富山県看護協会 訪問看護ステーションひよどり	管理者	北川　洋子
病院地域連携室代表	真生会富山病院 地域医療連携室	室長	阿部　素子
ケアマネジャー代表	射水市居宅介護支援事業者 連絡協議会	会長	柴田　芳之
介護サービス提供事業者代表	エスポワールこすぎ デイサービスセンター	施設長	松浦　佳紀
地域包括支援センター代表	新湊東地域包括支援センター	所長	長谷　英寿

協議会　会長	髙橋　徹
協議会　副会長	松浦　佳紀

平成29年度　射水市在宅医療・介護連携推進事業　実施計画

	事業内容 （地域支援事業実施要綱による）	事業計画(案)	実施主体	ワーキンググループ
（ア）	地域の医療・介護サービス資源の把握 地域の医療機関、介護事業所等の住所、機能等を把握し、これまでに自治体等が把握している情報と合わせて、リスト又はマップを作成、活用する。	○市ホームページの公開、リスト等の管理と情報収集 医療機関、介護事業所一覧表等のデータ更新 必要な情報を随時アップし、内容を充実 （在宅医療・介護連携支援相談窓口担当者が実施）	市	
（イ）	在宅医療･介護連携の課題の抽出と対応策の検討 地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状と課題の抽出、対応策等の検討を行う。	○射水市在宅医療・介護連携推進協議会の開催 （2～3回/年） 連携推進に関する事項の検討 ワーキンググループからの報告や提案事項の検討	市	
（ウ）	切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進 地域の医療・介護関係者の協力を得ながら、切れ目なく在宅医療と介護が一体的に提供される体制の構築を目指した取組を行う。	○提供体制の現状把握と課題の抽出 介護サービス利用者や家族、介護支援専門員等にアンケートを実施し、課題の抽出・検討	医師会 市	在宅医療介護提供体制ＷＧ
（エ）	医療・介護関係者の情報共有の支援 情報共有の手順等を含めた情報共有ツールを整備し、地域の医療・介護関係者間の情報共有の支援を行う。	○情報共有ツールの検討・充実 既存様式の内容検討や活用しやすい体制づくり 不足しているツールの検討	市	情報共有ツールＷＧ
（オ）	在宅医療･介護連携に関する相談支援 地域の在宅医療と介護の連携を支援する相談窓口の運営を行い、地域の医療・介護関係者からの相談の受付を行う。	**○【新】 在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置** ＜設置場所＞ 市地域福祉課内に1箇所設置（H29年6月予定） ＜実施方法＞ 保健師1名、社会福祉士1名（認知症初期集中支援チームの専門職と兼務）を配置し、射水市医師会、地域包括支援センター等の協力を得て、連携調整や情報提供を行う。 ○地域ケア会議等への参加による相談支援	市	
（カ）	医療･介護関係者の研修 多職種が連携するための事例検討会の開催 医療・介護関係者に対する研修	○射水市医師会委託による研修会実施（年3回） 事例検討会、多職種連携研修会等	医師会	
（キ）	地域住民への普及啓発 在宅医療・介護サービスに関する講演会開催、パンフレットの作成・配布等により、地域住民の在宅医療・介護連携の理解を促進する。	**○【新】 県外講師による住民向け講演会の実施** **（年1回）** ○パンフレットの配布による普及啓発	医師会 市	住民普及啓発ＷＧ
（ク）	在宅医療･介護連携に関する関係市町村の連携	○地域包括ケア推進支援事業 在宅医療・介護連携推進支援事業 認知症施策推進支援事業 ○地域リハビリテーション支援事業	厚生センター	
認知症の早期診断・早期対応のための体制整備		早期に認知症の鑑別診断が行われ、速やかに適正な医療・介護が受けられる認知症初期集中支援チームの設置（資料３） **○【新】 認知症初期集中支援チームの設置** **認知症サポート医（射水市医師会に委託）**	市	

在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置について

１　事業概要等

高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることを目的に介護保険法の一部改正に基づき、地域の医療・介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談等を受けるとともに、必要に応じ退院時の連携調整、情報提供を行う相談窓口を地域福祉課に設置する。

２　相談対象者

（1）　医療関係者　（病院・診療所・歯科診療所・薬局　等）

（2）　介護関係者　（ケアマネジャー・訪問介護・訪問看護・訪問リハ・通所施設・介護老人保健施設　等）

３　事業内容

（1）　実施体制

地域福祉課内に相談窓口を設置し、保健師及び社会福祉士各１名が相談対応する。

（各地域包括支援センターや市医師会等と連携、情報共有していく。）

ア　相談方法　　電話相談、来所相談、病院訪問、調整会議等

イ　実施日時　　月曜～金曜日（市役所の開庁日時）

（2）　実施内容

ア　在宅医療・介護連携を支援する相談窓口の運営

イ　医療・介護関係者からの相談への対応

(ｱ) 医療機関に関する相談・紹介・調整

(ｲ) 訪問診療・往診に関する情報提供

(ｳ) 医療機関への介護サービスに関する情報提供

(ｴ) 医療・介護サービス資源の把握

ウ　医療・介護関係者及び地域包括支援センターとの連携支援

（3）　業務開始日

平成２９年６月１日

（4）　制度周知

ア　介護機関等に、地域包括支援センター会議等で周知する。

イ　医療機関等に、市医師会等と連携し周知する。

射水市在宅医療・介護連携推進事業の紹介

射水市では、高齢者が医療や介護が必要になっても、可能な限り住み慣れた地域で自分らしい生活を続けることができるように、医療と介護の連携を推進しています。

射水市在宅医療・介護連携推進協議会の開催（年３回）

射水市医師会、射水市民病院、歯科医師会、薬剤師会、富山福祉短期大学、高岡厚生センター射水支所、訪問看護ステーション、地域連携室、居宅介護支援事業者連絡協議会、介護サービス事業所、地域包括支援センターの関係団体の代表者による「射水市在宅医療・介護連携推進協議会」をH28.9月に立ち上げました。多職種の連携がよりスムーズに進められるような体制づくりを推進していきます。

多職種連携研修会の開催（年３回）

医療や介護の知識を深めるとともに、顔の見える関係での連携強化を目的に、多職種による事例検討会及び研修会を行います。（射水市医師会へ委託実施）

射水市在宅医療・介護連携支援相談窓口の設置（H29.6月～）

地域の医療機関や介護関係者からの在宅医療・介護連携に関する相談等を受け、情報提供や連絡調整を行い、在宅療養支援を行います。

＜対　象　者＞　医療機関、介護関係者

＜窓　　口＞　射水市地域福祉課地域支援係　　TEL51-6625　　FAX51-6657

電話相談、来所相談（社会福祉士、保健師が対応します）

月曜～金曜、８時３０分～１７時

＜対 応 内 容＞　在宅療養相談、医療・介護連携に関する相談や連絡調整

医療・介護サービス資源の情報提供など

「射水市医療・介護情報」ホームページの開設（H29.6月～）

医療や介護の情報を必要に応じて閲覧できるよう市ホームページに　*射水市医療・介護情報*　のバナーを設置します。

（市からのお知らせ、関係機関リンク集、研修会案内、各種連携シートのダウンロード等）

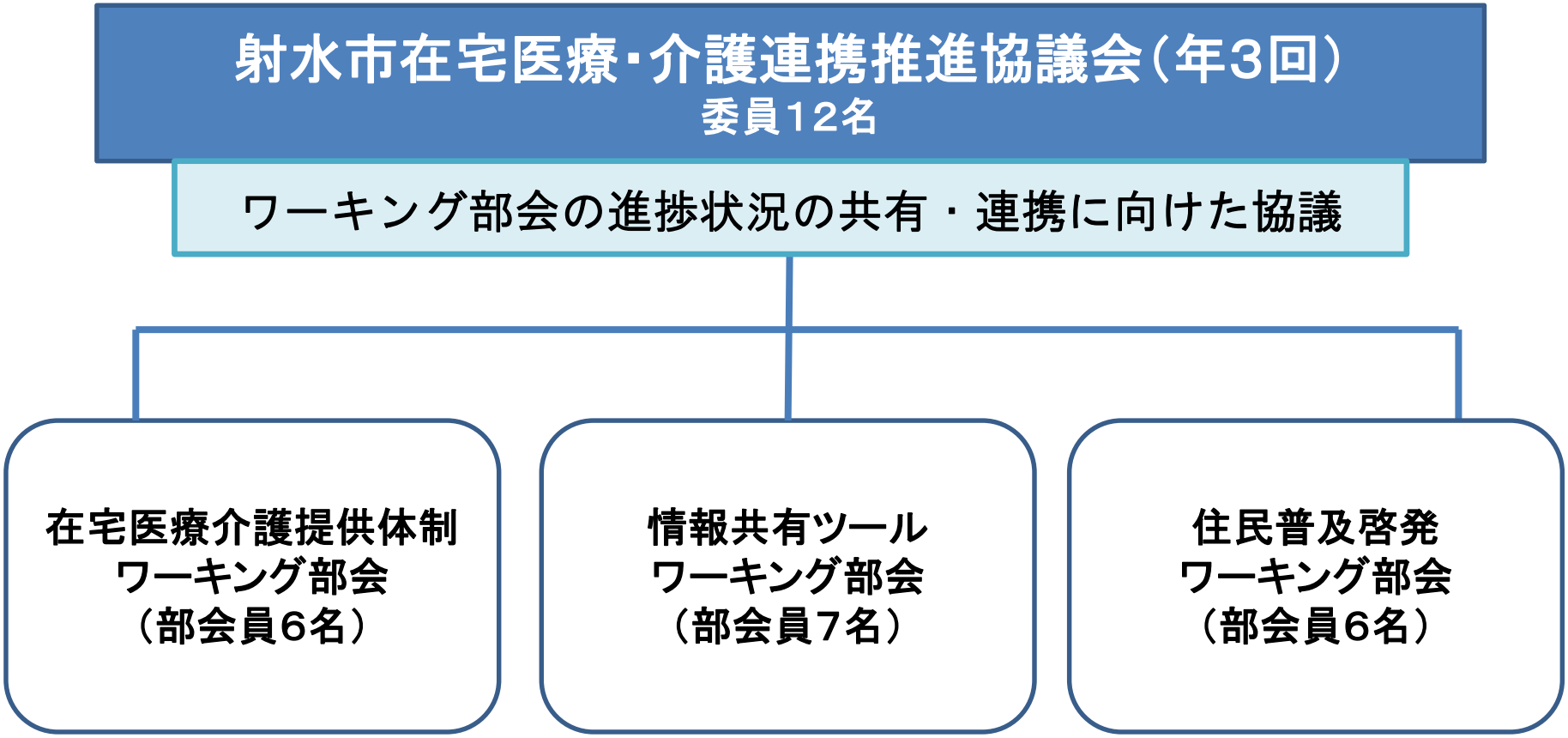
在宅医療推進に向けた市民への啓発

在宅医療や終末期をテーマとした講演会やリーフレットの配布を行い、在宅医療に関する市民の理解を深め、人生の最期をどう迎えるかを考えるきっかけづくりを行います。

射水市地域福祉課

平成29年度ワーキング部会の開催について

在宅医療・介護連携推進協議会において抽出した課題に対する検討をワーキング部会で実施し、協議会で進捗状況の共有を行いながら協議を行います。



在宅医療介護提供体制ワーキング部会

ひとりひとりの状態に応じた最適な医療と介護を継続的、包括的に提供できる体制の推進

【H29年度実施計画】

介護サービス利用者や家族、介護支援専門員等へのアンケートを行い、医療や介護の提供体制についての現状把握と課題の抽出を行う。

【ワーキング部会員（6名）】

白やぎ在宅クリニック　院長　　八木　清貴氏
射水市民病院地域連携室　師長　　西野　崇乃氏
真生会デンタルクリニック　院長　　稲田　雅一氏
にの井屋薬局　管理薬剤師　　摂津　樹氏
高岡厚生センター射水支所地域健康課長　福井貴実子氏
小杉・下地域包括支援センター　所長　　折坂久実子氏

【実施スケジュール】

6月	
7月	第1回ワーキング部会
8月	第2回ワーキング部会
9月	
10月	在宅医療・介護連携推進協議会
11月	アンケート実施
12月	アンケート集計
1月	第3回ワーキング部会
2月	在宅医療・介護連携推進協議会

情報共有ツールワーキング部会

顔の見える関係を目指した多職種ネットワーク体制の強化と情報共有の推進

【H29年度実施計画】

連携のための情報共有ツールの内容を見直し、活用しやすい体制づくり（ICT化など）の検討を行う。

【ワーキング部会員（7名）】

のざわクリニック	院長　野澤　寛氏
射水市民病院歯科口腔外科部長	高櫻　大輔氏
チューリップ新湊薬局	薬剤師　青塚　保志氏
訪問看護ステーションひよどり	管理者　北川　洋子氏
真生会富山病院医療福祉相談室	副主任　濱名　寛子氏
居宅介護支援事業者連絡協議会（小杉南地域包括支援センター）	会長　柴田　芳之氏
新湊西地域包括支援センター	所長　中沖　清美氏

【実施スケジュール】

6月	
7月	第1回ワーキング部会
8月	第2回ワーキング部会
9月	
10月	在宅医療・介護連携推進協議会
11月	第3回ワーキング部会
12月	
1月	
2月	在宅医療・介護連携推進協議会

住民普及啓発ワーキング部会

住み慣れた地域で自分らしい生活を送るための住民への普及啓発の推進

【H29年度実施計画】

医療や介護が必要となっても本人、家族の状況に応じて生活の場を選択できるように住民意識を向上させるため普及啓発について検討する。また市民向けの講演会を企画、開催する。

【ワーキング部会員（6名）】

矢野神経内科医院	院長　矢野　博明氏
富山福祉短期大学	教授　炭谷　靖子氏
高岡厚生センター射水支所	副主幹　太田　明美氏
居宅介護支援事業者連絡協議会（射水万葉苑居宅介護支援事業所）	書記　高桑　早奈恵氏
エスポワールこすぎデイサービスセンター	施設長　松浦佳紀氏
大門・大島地域包括支援センター	高越　美栄子氏

【実施スケジュール】

6月	
7月	第1回ワーキング部会
8月	第2回ワーキング部会
9月	
10月	在宅医療・介護連携推進協議会
11月	市民向け講演会
12月	
1月	第3回ワーキング部会
2月	在宅医療・介護連携推進協議会

射水市在宅医療・介護連携推進協議会ワーキング部会員名簿

1　在宅医療介護提供体制ワーキング部会

		役職	委員名	部会長（案）
1	医師会代表	白やぎ在宅クリニック　院長	八木　清貴	
2	公的病院	射水市民病院地域連携室　師長	西野　崇乃	
3	歯科医師会代表	真生会デンタルクリニック　院長	稲田　雅一	
4	薬剤師会代表	にの井屋薬局　管理薬剤師	摂津　樹	
5	厚生センター	高岡厚生センター射水支所　地域健康課長	福井　貴実子	○
6	地域包括支援センター代表	小杉・下地域包括支援センター　所長	折坂　久実子	
	事務局	地域福祉課地域支援係　主任	島崎　真理	

2　情報共有ツールワーキング部会

		役職	委員名	部会長（案）
1	医師会代表	のざわクリニック　院長	野澤　寛	
2	歯科医師会代表	射水市民病院歯科口腔外科部長	高櫻　大輔	
3	薬剤師会代表	チューリップ新湊薬局　管理薬剤師	青塚　保志	
4	訪問看護ステーション代表	訪問介護ステーションひよどり　管理者	北川　洋子	
5	病院地域連携室代表	真生会富山病院医療福祉相談室　副主任	濱名　寛子	
6	ケアマネジャー代表	居宅介護支援事業者連絡協議会　会長 （小杉南地域包括支援センター）	柴田　芳之	○
7	地域包括支援センター代表	新湊西地域包括支援センター　所長	中沖　清美	
	事務局	地域福祉課地域支援係　主任	島崎　真理	

3　住民普及啓発ワーキング部会

		役職	委員名	部会長（案）
1	医師会代表	矢野神経内科医院　院長	矢野　博明	
2	学識経験者	富山福祉短期大学　教授	炭谷　靖子	
3	厚生センター	高岡厚生センター射水支所　副主幹	太田　明美	
4	ケアマネジャー代表	居宅介護支援事業者連絡協議会　書記 （射水万葉苑居宅介護支援事業所）	高桑　早奈恵	
5	介護サービス提供事業者代表	エスポワールこすぎデイサービスセンター施設長	松浦　佳紀	○
6	地域包括支援センター代表	大門・大島地域包括支援センター（歯科衛生士）	高越　美栄子	
	事務局	地域福祉課地域支援係　主任	城石　幸代	